



お盆特集
法名のはなし

★そもそも法名とは？

法名とは、仏教に帰依して、仏弟子となった方に授けられる「仏法の上での名前」です。

「法号」とも「法諱」とも言います。法名は、僧侶では「得度式」に

より、また、在家の方には「帰敬

式（俗におかみそりと言っています）」を受けることによって、ご本山からいただくことが出来ます。

存命中に法名をいただかなかった門信徒の方は、亡くなったときにお手次の寺のご住職から法名をつけていただきます。

浄土真宗では、すべて二字の法名で、その法名の上に「釈（釋）」の字をつけることになっています。

「釈（釋）」というのは、釋迦牟尼仏（お釈迦様のこと）を略したもので、

「釈（釋）○○」とするの

は、仏弟子になったことを意味します。なお、女性の法名につける釈尼の「尼」という字は、サンスクリット語の女

おかみそり



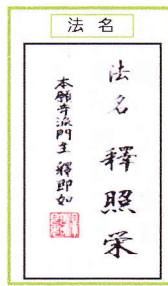
長野善光寺のお盆縁日

を意味する言葉の音訳で、いわゆる尼僧（あまさん）という意味ではありませんので念のため。

★法名と戒名とは違うの？

法名も戒名も生前と死後とにかかわらず、仏弟子となったときに授かる名前なので基本的には同じことです。しかし、浄土真宗では「凡夫である衆生は仏法の厳しい戒律を守ることが出来ず、ただ阿弥陀仏の誓願に依つてのみ救われる」という無戒の教義に基づき、あえて戒名という言葉は使わず法名と言います。

★おかみそりでの法名は自分で選べるの？



法名に特定の名前を希望することを内願と言いますが、従来、内願は認め

られておらず門主（門首）または手次寺の住職が教典の中から二字を選んで授けることになっていました。しかし、現在ではおかみそりの二ヶ月前までに、お手次寺を通じて申請すれば、内願が認められるようです。ただ、この場合内願法名懇志として別途一万円以上を納めなければいけません。また、俗名の中の一字を用いることは今では普通に行われているようです。それはそれとして、法名は本来、生前に帰敬式（おかみそり）を受け、ご門主（門首）様より頂くのが「法名の本来あるべき姿」であることを忘れないようにしたいものです。

★院号・位号とは？

院号はもともと寺を建立するほどの大きな貢献をした者に贈られる名前でしたが、今は本山

季節の詩

林 香月子

ゆふづつや白桔梗まだ谷れやまず

(ゆふづつは夕方西天に見える金星。宵の明星。)



やお手次寺の護持にそれなりの貢献した者に贈られます。居士や大姉などの位号は浄土真宗の本山では認めていませんが、例外的に末寺が、多額の金品などを布施した故人の遺言やその遺族の希望によってつけていることもあるようです。院号・位号の例

石原裕次郎 陽光院天真寛裕大居士
林家三平 志道院釋誠泰

美空ひばり 茲唱院美空日和清大姉

★法名のお値段はいかほど？

近年、法名料や戒名料の多寡がしばしば問題になります。寺側から数百万円という多額のお金を要求されトラブルになったという話もあります。西本願寺の場合、法名料というものはなく、おかみそりの際、冥加金として、成人は一万円、未成年者は五千円を納めることになっています。また、二十万円以上の懇志を納めた人にはいろいろとあるお扱い（返礼のこと）の一つとして院号が贈られることもあります。

いかるぎ 鶴木

七月五日、国立競技場で石原裕次郎二十三回忌が開催されました。大手ゼネコンが十日間の突貫工事で完成させたという菩提寺の総持寺本堂を模した巨大なセットの前で、百二十人もの僧が読経を続ける中、用意された花数万本が、参加した十二万人のファンの手で長さ約五十メートルの献花台に次々と捧げられました。費用は

明らかにされていませんが大型映画一本の制作費以上、つまり少なくとも十億円を下らないものと言われています。誰の目にも故人を偲ぶ法要というより石原軍団の興行としか映らないのは、主催した俳優たちの得意げでにやかな笑顔のせいかもしれません。奥さんのまき子さん（75）さえ「にぎやかなことはいえ、ちよつとおバカな：」と苦笑いをしていて、こういうイベントに数十億をかける人たちの神経が理解できません。

仮にこれだけの開催費用を社会福祉に充てれば、各県に一つずつの老人ホームができるかもしれないのです。天国の裕次郎さんも、こんな派手なイベントに浪費するより、むしろそのようなお金の使い方を望んでいるのではないのでしょうか。



雨蛙小虫を追うて 群成し渡る
小さな命踏まずに通る
林 孝一

ないかと言われていますが、確かにかつては数多く見受けた田螺、泥鰌、蛇、蜻蛉、などはこの頃本当に見受けなくなりました。殿様蛙もあまりいません。そんな中でなぜか雨蛙だけはとてもよく見かけます。冒頭の一首、ちいさな雨蛙にも命の大切さを思う温かい心根がよく表れています。林孝一さんからお寄せいただきました。

市老連女性リーダー研修会

今年度の市老連女性リーダー研修会が七月十日西部体育館で開かれ、KNBパリーソナリティ関沢仁悦さんの講話や県老連指導員川田和美さん指導による軽体操などにより資質の向上に努めました。本会より坂東国香副会長と、武部律子さん、齋藤美智代さんが参加されました。



林綾乃さん県大会へ

北日本民謡舞踊大会

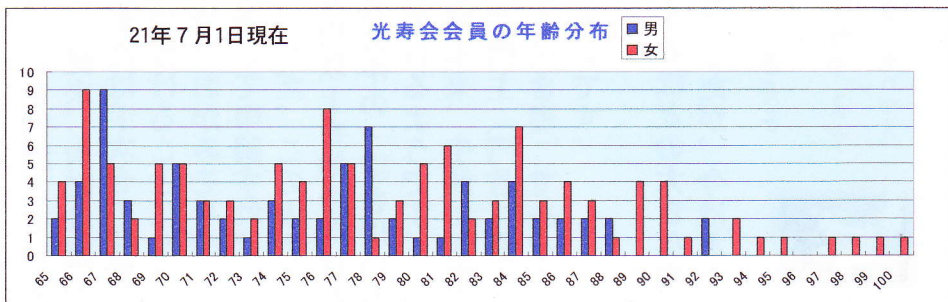
七月十九日立山町で行われた北日本民謡舞踊大会で、当会会員林綾乃さんが、熟年の部で「麦屋節」を謡って見事入賞され、八月二十三日富山市で行われる県大会へ出場されることになりました。

日本の女性は

世界一の長寿

このほど厚労省から発表された統計に依れば、日本女性の平均寿命は八六、〇五歳で世界一、男性の七九、二九歳に比べ六年以上も長くなっています。

下図は光寿会会員の年齢分布ですが、これを見るまでもなく光寿会の長寿者が女性で占められていることは皆さん先刻ご承知のことです。何故女性には長寿かという理由は科学的にいくつか説明されています。いちいち説明すると長くなりますが、ホルモン、エネルギー代謝、遺伝子構造、ストレスなど、そのいずれも女性が長寿にとつて男より勝っています。爺が婆に看取られてお先に失礼という傾向は今後も変わらないうにありませう。婆様方どうぞ宜しく。



会員の慶弔

慶事

八田 嵩 様

四十人以上無事故無違反で富山県警察本部長・富山県交通安全協会会長表彰

弔事

林 定信 様

七月二十六日死去

享年数え年八十三歳

八田 敏夫 様

七月二十九日死去

享年数え年七十八歳

謹んでご冥福をお祈りいたします。

8月行事予定

- ★ 1日 定例役員会
- ★ 19日 らんじょ浮世亭

らんじょ浮世亭だより

7月のらんじょ浮世亭は、いつもの定番メニューのほか、「皇后陛下美智子さま」を大画面映像で観ました。はじめて民間から皇室に入られ、言葉に尽くせぬような様々な苦難と闘いながらも、国母として国民の幸福を願いつつ、常に天皇陛下を支えて見事に生き抜いてこられた皇后美智子さまの、七十余年にわたる人生を、同世代を生きてきた者として感慨深く拝見しました。

午後の書写・朗誦の集いは、仏説阿彌陀経の第六回目、極楽浄土に行けば、阿僧祇劫（10のあとに0が56個つく数）と言われるほど無数の阿彌陀仏の声聞の弟子、阿羅漢、菩薩たちがいて、それと共に暮らす（俱会一処）ことが出来る。と説いている部分を書写しました。

次回は8月19日(第三水曜日)です

高齢者の免許更新に認知症検査（正しくは認知機能検査と言う）が義務づけられました。認知症に関する正しい知識を持つことは、今や高齢者にとって欠かすことが出来ない時代です。そこで今回は認知症に詳しい保健師の方を招いて、「**認知症**—その症例と予防—」についてお話を伺います。日頃認知症の人に接している保健師の豊富な体験に基づくお話です。他人事ではありません、ぜひ聞きに来て下さい。午前10時より約1時間の予定です。

